

アカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化盛期は、平年より早まる予想です。

斑点米被害予防のため、ふ化盛期に合わせて地域全体で草刈を行い、アカスジカスミカメの密度低減に努めましょう。

現在の状況

- 1 アカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化盛期を有効積算温度で予測すると、県南部の一部で既にふ化盛期に達したものと推測される（表1）。

表1 有効積算温度で予測したアカスジカスミカメ越冬世代幼虫のふ化盛期（令和6年5月9日現在）

年次	一関	江刺	北上	大船渡	盛岡	二戸	軽米	宮古	松尾	遠野	久慈	湯田
令和6年 ¹⁾	5/7	5/7	5/10	5/13	5/14	5/27	5/28	5/24	5/26	5/30	6/1	6/6
平年 ²⁾	5/23	5/23	5/24	5/26	5/27	5/31	5/31	5/30	5/31	6/4	6/5	6/11
(参考) 令和5年 ³⁾	5/22	5/22	5/23	5/23	5/28	6/4	6/2	5/29	6/6	6/5	6/4	6/8

- 1) 予測月日は「重久の報告(発育零点12.1℃、有効積算温度105.7日度)」に基づき、5/9まではアメダス日平均気温観測値を、5/10以降は日平均気温の直近10年平均値を用いて算出。
 - 2) 直近10年分の各年の平均気温を使用して算出した予測値の平均値
 - 3) 令和5年の平均気温を使用して算出した予測値
- 2 1か月予報（5月9日、仙台管区气象台発表）では、向こう1か月（5月11日～6月10日）の平均気温は、平年よりかなり高い見込みであり、今後平均気温が平年より高い日が続くと更にふ化盛期が早まる可能性がある。

防除対策

- 1 アカスジカスミカメは、水田畦畔や牧草地で卵越冬する。
- 2 各地のふ化盛期は移植時期と重なることが想定されるため、表1を参考に、可能な限りふ化盛期の前後に、地域一斉に越冬場所である水田畦畔、水田周辺の牧草地、雑草地、農道等の草刈りを行い、幼虫の密度低減を図る。
- 3 草刈り後10日間程度は雑草の出穂は抑制されるが、その後もアカスジカスミカメの増殖場所であるイネ科植物（イタリアンライグラス、スズメノカタビラ等）を出穂させないような管理を心がける。

【利用上の注意】

- ・農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・農薬使用の際は（1）使用基準の遵守（2）飛散防止（3）防除実績の記帳を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

アドレス <https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

